



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月11日

上場会社名 株式会社レッグス 上場取引所 大  
 コード番号 4286 URL http://www.legs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経営企画担当 (氏名) 高木 一芳 (TEL) 03 (3408) 3090  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績 (平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	5,174	8.8	224	142.4	232	150.6	121	202.8
22年12月期第2四半期	4,754	46.1	92	—	92	—	40	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	4,790.01	4,782.07
22年12月期第2四半期	1,581.71	1,578.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	4,718	2,775	58.2	108,470.79
22年12月期	3,687	2,669	71.7	104,493.94

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 2,744百万円 22年12月期 2,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
23年12月期	—	0.00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	9,500 4.1	200 3.7	200 △0.6	120 0.9	4,742.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名 )、除外 一社 (社名 )  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)  
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

23年12月期 2 Q	27,100株	22年12月期	27,100株
23年12月期 2 Q	1,798株	22年12月期	1,798株
23年12月期 2 Q	25,302株	22年12月期 2 Q	25,302株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	5
【第2四半期連結累計期間】.....	5
【第2四半期連結会計期間】.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に回復の兆しが出ている一方、雇用環境も未だ厳しく、企業の生産活動についても夏の電力不足が足かせになる恐れもあることから、依然景気の持ち直しの動きに足踏みがみられるといった状況です。

当社グループが属する広告・販促業界においても、震災後のサプライチェーン（供給網）の復旧が当初予想より早まり、消費自粛ムードも緩んできたため、当初の減少幅より縮小する見込みもあるものの、これも夏場の電力不足が足かせとなる可能性があることから、広告・販促市況が前年同期比プラスに転じるのは来年度になる見通しです。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略に基づいて従来の戦略市場である飲料・食品・流通及び通信業界を中心とする既存顧客の深堀り、特に、比較的企業体力のある大手を中心とする既存顧客の深堀りに加え、他業界での新規顧客開拓や昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した新規商材の提供等により、戦略市場及び提供サービスの幅をひとつひとつ広げべく積極的な事業展開を行なってまいりました。

当第2四半期連結累計期間において、まず売上高については、飲料顧客向け大型案件がなくなったことにより減少したものの、食品顧客向け、OEM顧客向けおよび新規開拓中の戦略顧客向け等を中心に販促施策受注が好調であったため前年同期比で大幅な増収となりました。

売上総利益率に関しては、OEM顧客向けで高付加価値案件があったことにより前年同期比で2.0ポイント改善しております。

営業利益、経常利益及び当期純利益については、人員増に伴う人件費の増加と基幹システムの入替えによるシステム構築費用等の増加により、販売費及び一般管理費の増加があったものの、売上高の増収と売上総利益率の改善により、前年同期比で増益となっております。

また、その他のトピックスといたしましては、近年積極的に推進しております海外展開が順調に進捗していることがあげられます。特に、経済発展の著しい中国においては、拡大するクライアントニーズに対応する為、平成20年10月に設立した当社子会社睿格斯（上海）貿易有限公司に続き、新たに、平成23年2月に広告業を主たる事業とする睿格斯（上海）广告有限公司を設立し、中国での更なる業務拡大を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,174百万円、営業利益は224百万円、経常利益は232百万円、四半期純利益は121百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,031百万円増加し、4,718百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて925百万円増加し、1,943百万円となりました。これは主に、買掛金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて105百万円増加し、2,775百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ145百万円減少し、1,291百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は100百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益226百万円、仕入債務の増加589百万円等による資金の収入があったものの、売上債権の増加1,038百万円等による資金の支出があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は37百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円及び保険積立金の積立による支出11百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は7百万円となりました。これは借入れによる収入17百万円があったものの配当金の支払24百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ612千円減少し、税金等調整前四半期純利益は7,972千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,292,453	1,437,722
受取手形及び売掛金	2,348,073	1,309,039
商品	189,726	119,369
その他	232,625	199,655
貸倒引当金	△4,862	△3,005
流動資産合計	4,058,016	3,062,780
固定資産		
有形固定資産	34,842	26,858
無形固定資産	120,576	95,491
投資その他の資産		
その他	524,837	525,054
貸倒引当金	△19,751	△22,841
投資その他の資産合計	505,085	502,212
固定資産合計	660,504	624,563
資産合計	4,718,521	3,687,344
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	982,412	392,637
未払法人税等	157,474	108,412
賞与引当金	60,545	47,881
役員賞与引当金	16,249	—
その他	402,358	152,749
流動負債合計	1,619,040	701,681
固定負債		
長期未払金	221,720	221,720
退職給付引当金	102,696	94,635
固定負債合計	324,417	316,355
負債合計	1,943,457	1,018,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	267,987	267,987
利益剰余金	2,395,157	2,299,262
自己株式	△130,352	△130,352
株主資本合計	2,753,354	2,657,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△1,679
繰延ヘッジ損益	39	△1,762
為替換算調整勘定	△8,860	△10,111
評価・換算差額等合計	△8,826	△13,554
新株予約権	25,828	21,816
少数株主持分	4,706	3,584
純資産合計	2,775,063	2,669,307
負債純資産合計	4,718,521	3,687,344

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,754,498	5,174,564
売上原価	3,714,186	3,937,548
売上総利益	1,040,312	1,237,015
販売費及び一般管理費	947,745	1,012,595
営業利益	92,567	224,420
営業外収益		
受取利息	372	324
受取配当金	442	486
受取手数料	4,272	8,620
その他	1,952	965
営業外収益合計	7,039	10,396
営業外費用		
為替差損	4,405	—
投資事業組合運用損	1,622	1,447
開業費償却	—	881
その他	888	179
営業外費用合計	6,916	2,507
経常利益	92,690	232,308
特別利益		
貸倒引当金戻入額	920	1,233
持分変動利益	70	624
特別利益合計	990	1,857
特別損失		
固定資産除却損	4,183	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,359
特別損失合計	4,183	7,432
税金等調整前四半期純利益	89,496	226,733
法人税、住民税及び事業税	72,735	156,997
法人税等調整額	△15,609	△50,960
法人税等合計	57,125	106,036
少数株主損益調整前四半期純利益	—	120,697
少数株主損失(△)	△7,649	△499
四半期純利益	40,020	121,196

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,676,458	2,965,459
売上原価	2,102,360	2,301,655
売上総利益	574,098	663,804
販売費及び一般管理費	478,163	521,724
営業利益	95,934	142,080
営業外収益		
受取利息	116	122
受取配当金	442	486
受取手数料	3,111	2,754
その他	976	1,323
営業外収益合計	4,646	4,685
営業外費用		
為替差損	2,643	—
投資事業組合運用損	—	599
開業費償却	—	461
その他	1,386	108
営業外費用合計	4,029	1,169
経常利益	96,551	145,596
特別利益		
貸倒引当金戻入額	463	448
持分変動利益	70	304
特別利益合計	533	753
特別損失		
固定資産除却損	1,159	72
特別損失合計	1,159	72
税金等調整前四半期純利益	95,926	146,277
法人税、住民税及び事業税	42,266	100,152
法人税等調整額	5,749	△31,847
法人税等合計	48,016	68,305
少数株主損益調整前四半期純利益	—	77,972
少数株主損失(△)	△846	△58
四半期純利益	48,756	78,031

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	89,496	226,733
減価償却費	10,584	13,341
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△920	△1,233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,295	12,663
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,350	16,249
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,530	8,061
受取利息及び受取配当金	△814	△810
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,359
売上債権の増減額 (△は増加)	553,278	△1,038,203
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△161,992	△70,371
仕入債務の増減額 (△は減少)	△56,183	589,298
その他	64,308	241,177
小計	527,932	4,266
利息及び配当金の受取額	840	809
法人税等の支払額	△4,590	△105,528
法人税等の還付額	19,049	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,231	△100,452
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,763	△12,447
無形固定資産の取得による支出	△53,953	△17,715
保険積立金の積立による支出	△10,482	△11,218
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	2,526	2,619
その他	1,469	1,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,704	△37,615
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入	—	17,390
配当金の支払額	△12,651	△24,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,651	△7,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,717	406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	469,158	△145,261
現金及び現金同等物の期首残高	1,026,684	1,436,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,495,843	1,291,645

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。